

平成22年10月12日

《よこしん》景気動向調査結果について
—平成22年7～9月期実績、10～12月期予想—

横浜信用金庫（理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断D I】

業況は3期連続で改善するも改善幅は縮小、来期はわずかに悪化を予想

- 今期（平成22年7～9月期）の業況判断D Iは前期比1.3ポイント改善の△28.4と、3四半期連続の改善となりましたが、改善幅は縮小しました。来期は△28.6と、0.2ポイントわずかに悪化する見通しとなっています。
- 製造業の今期業況判断D Iは前期比3.7ポイント改善の△30.7と、5四半期連続で改善しました。特に電気機械器具（△25.9）や一般機械器具（△28.0）等の機械器具型業種の回復が続いています。来期は、2.4ポイントさらに改善を見込んでいます。
- 非製造業の今期業況判断D Iは前期比0.1ポイント改善の△27.3となりました。卸売業（△25.3）で前期比5.6ポイント改善しましたが、そのほかの業種は小幅な動きに留まっています。来期は卸売業や不動産業等で悪化を見込んでいます。

【特別調査】 中小企業経営者の健康管理と事業承継

- 社長の年齢は半数以上が「60歳以上」。
- 社長の約8割が「適度な運動」など健康維持・向上のための取組みを行っている。
- 事業承継については、約2割の先が「具体的な相談をしている」と回答。
- 後継者には半数以上が「子供・配偶者」を希望している。

<調査概要>

調査対象 : 当金庫取引先（法人・個人事業者）774先

有効回答数 : 753先

調査方法 : 各営業店職員による聞き取り調査

調査時期 : 平成22年9月上旬

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗